

全米オープンテニス観戦記

原田義則(3組)

先週の8/30-9/6の一週間、全米オープンテニストーナメント@ニューヨークの観戦に行つて来ました。

テニスの4大トーナメント[全仏(ローラン・ギャロス)、全英(ウインブルドン)、全米、全豪]を観戦するというのが昔からの夢で、昨年の全仏オープンテニストーナメント、1月末の全豪オープンテニストーナメントの観戦に続き、今回は3回目の4大トーナメント観戦です(残り1つで「グランドスラム達成」)。アーサー・アッシュ・スタジアム(センターコート)とルイ・アームストロング・スタジアムで男女の4回戦、準々決勝の内、何戦かを観戦しました。

日本でも大いに盛り上がったように錦織が大活躍してくれて非常に嬉しかったのですが、正直言って、3か月前には錦織が第2週に残っているかどうか極めて不安でしたので、期待を込めて4回戦、準々決勝辺りのチケットを事前に購入しました。結果的には「幸運にも」外れでした。

4回戦で強豪ラオニッチ(第5シード)にフルセットの4時間を超える戦いの末、勝った錦織(第10シード)は準決勝で第3シードのS.バブリンカと戦い、これまた撃破して仕舞いました。事前に購入した座席指定のチケットの関係(曜日とデイセッションかイブニングセッションかの選択は出来るが、どのコートで試合をするかは主催者の判断)で、錦織戦はコート脇の大型スクリーンでしか観戦できなかったのですが、錦織のプレイスタイルが共感を呼ぶらしく、対戦相手よりも錦織に対する声援の方が圧倒的に大きく、感動的でした。また、それはそれは素晴らしい試合内容で、私が考えていたよりも錦織は遥かに強くなっていると感じました。

錦織-ジョコビッチ(世界No.1、第1シード)戦の時には日本に帰らざるを得なく、観られませんでした。これにも勝つとは驚くべき成績でした。十分に力を出せず残念ながら決勝では格下に敗れたものの、「テニスの王子様」の実写版である錦織関連のニュースは目白押しで、テニス人気再燃の雰囲気です。

私は仕事で2-30回はアメリカに行っていますが、観光目的の旅行は今回が初めてで、ニューヨークも初めてでした。ヨーロッパの街や西海岸の街に比べて路上にゴミが多く、街の風景は些か美しさに欠けるものの「世界で最もエキサイティングな街」であることは間違いのないようでした。地下鉄は24時間運行されていますし、食べ物も全て美味しく、水道水も高品質でした。

来月上旬には有明テニスの森で楽天ジャパン・オープンが世界の強豪を集めて開催されます(勿論チケットは購入済み)。錦織圭の活躍に期待大です。

その前、9/27-28には第12回目となる同期テニスの会(布施修一郎会長)が軽井沢で開催されます。十分積んできたイメージトレーニングの成果が出れば良いのですが。

撮って来た写真の一部を添付します。

(2014/9/11記)



試合をするウィリアムズ姉妹(アメリカ)



作戦を練るウィリアムズ姉妹(アメリカ)



コート上を走りまわるジョコビッチ(セルビア) その1



コート上を走りまわるジョコビッチ(セルビア) その2



懸命に球を返すシモン(フランス)



バブリンカ(スイス)に勝利した錦織



錦織の勝利インタビュー



決勝戦で錦織を破ったチリッチ(クロアチア)